

福祉をメインストリームへ

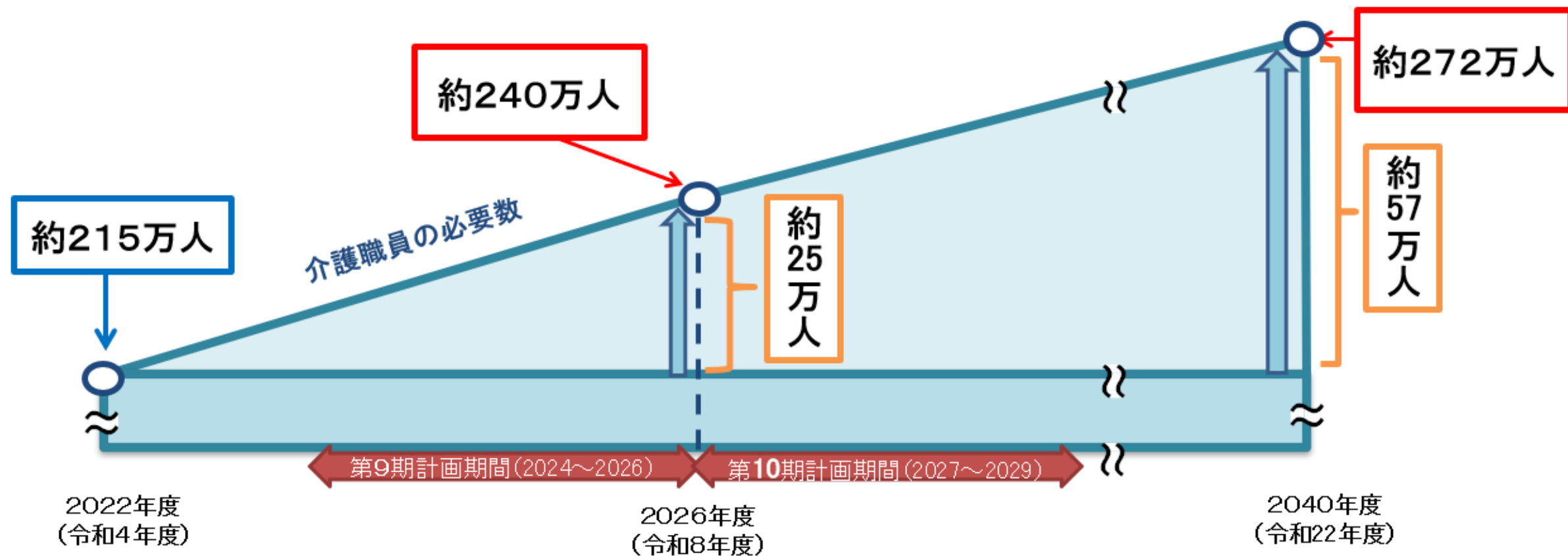
Z-Care Future: Next-Gen 福祉ロボット都市プロジェクト

九州工業大学博士後期課程3年生(次年度から研究員)

合同会社共創テクノロジー CEO

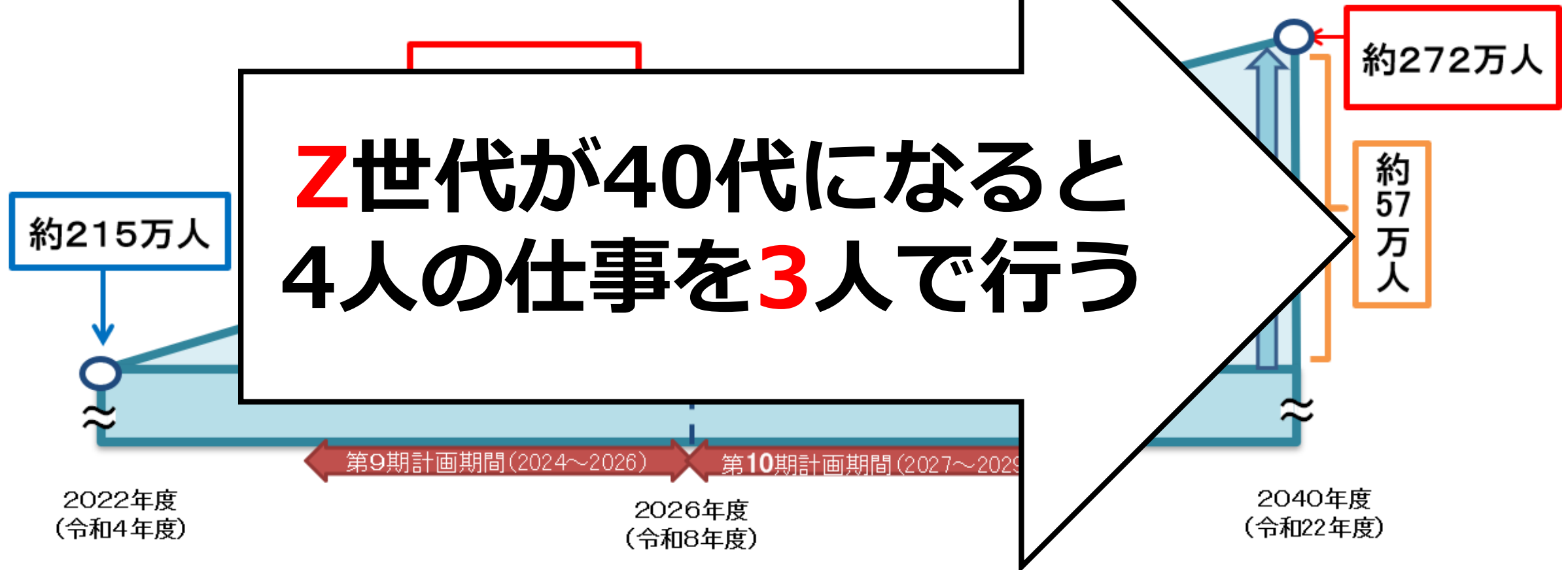
山崎 駆

2040年、日本が 無理ゲーに？



2040年、日本が

無理ゲーに？



北九州市は課題先進都市



北九州市は課題先進都市



課題解決先進都市北九州で**Z世代**がやる

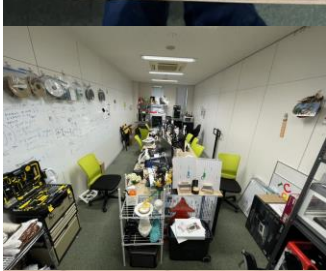


本事業で実施したこと



4つのロボットを「共創」で開発

- 北九州高専（訪問詐欺防止ロボット）
- 九工大（福祉技術開発用ロボット）
- 九工大（GPS異常行動検知ロボット）
- ひびきの小（車椅子立ち上がり支援ロボット）



ロボット開発ラボの整備



ロボットチャレンジコンテストの実施



ロボットフェスの実施

小学生でも簡単にロボットを作れる時代 到来

○ 立つのをサポートする「車イス」

○ 立つのをサポートする「車イス」

- ・モーターを使わずバネで
 - ・立ちやすい高さの位置に
 - ・
- これがある理由
- ・ 車イスから立つ時や 降りる時に 足が ぶつかる などに いたんが 入るから



実施の成果

福祉はメインストリームになったのか？

A. 100人以上の親子がイベントに参加。きっかけは作れた

Z世代課と一緒にやるなかで、違いや発見はあったか？

A. ひびきの「当たり前」は当たり前ではない

ひびきの以外にもオープンイノベーションを強く求める

他のZ世代の人たちとやってみた時の発見は？

A. 根っこの課題は同じ。若者が行動に移せる環境が大事



今後の展望

北九州から世界まで幅広く活躍できる 人材を小学生の頃から育成する

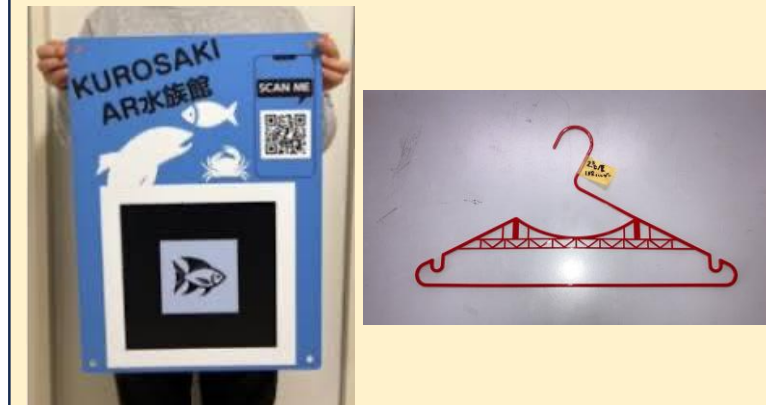
研究

世界に貢献！！



会社

北九州に貢献！！



個人

社会に貢献！！

